



— 節分祭・火焼(ほやき)神事 —

節分祭・平成30年2月3日

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

社報 あそみや

平成30年3月20日

第 71 号

発行所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋862

☎ 0957-43-5235

美酒佳肴

阿蘇神社
宮司 大島 大明

雪見酒、花見酒など古来より自然を愛でながら飲む酒を美酒としていたようです。酒は神道との関わりも深く、日本書紀には須佐之男命(すさのおのみこと)が八岐大蛇(やまたのおろち)を退治するの

に使つたのが酒。今では御神酒というと清酒ですが、宮中神殿では、古来の製法により黒酒、白酒などつくり供えています。

海の幸山の幸など佳肴も多い昨今ですが、酒を美味しく飲むため

の格言があるそうです。
「船七」は、船中で酒を注ぐときは粗相をする危険があるので、容器の七分目ぐらいにするが良い。「馬六」は、車中での注ぎ方は六分目くらいが丁度良い。昼間の宴会なら九分目でも良いが、夜の宴会では八分目が失敗しないという。

馬六
五器
四女
三肴
二間
一友
六場
九夜
八船
七七

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかけて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、大御心をいただきて神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
國の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること



- 特設舞台での豆撒き -

諫早市の迎春行事の一つとされ
る、阿蘇神社の節分祭が二月三日
に斎行されました。心配された天
候も崩れることなく、境内は一年
間の福を求める参拝者で境内は大
いに賑わいました。

午後五時に節分祭の神事が斎行
され、氏子崇敬者の平穏無事と諸
産業の繁栄を祈念する祝詞が奏上
されました。引き続き本殿前の斎
場では旧年中の御神札・御守・破
魔矢・熊手等を焚き上げる火焼神
事(ほやきしんじ)が行われました。

火焼神事の終了後に北島総代会
長等の手によつて火が着けられま

**恒例
節分祭恙なく終了!!**

した。火焼神事は午後九時まで行われ、多くの参拝者が手を合わせていきました。

恒例の豆撒き行事には、成(イヌ)歳生れの年男・年女二十五名が三回に分かれて参加し、豆撒きを行いました。豆撒き奉仕者は、袴に身を正し、神前でお祓いを受けて舞台へ移動、「福は内」鬼は外」の掛け声のもと豆撒きを行いました。

境内には諫早市商工会の青年部女性部などの出店が並び阿蘇神社の節分祭は賑わいました。三回目の豆撒き終了後、法被姿の神社総代が舞台に上がり、餅撒きを行いました。まず北島勝幸総代会長が謝辞を述べ、その後総代全員で一年間の開運招福を願った餅撒きを行いました。一年間の福を込めた餅は、紅白の小餅で毎年一年間の日数分が用意され、今年は三六五袋が、開運招福の願いをこめて撒かれました。

◇豆撒行景品提供◇
順不同・敬称略

十善商店、(有)三伸電機、ティーエム企画、(有)丸創建材店、寺尾電器、(有)もろおか薬品、(有)モールアム、おしゃれの店花椿、西村八郎、ゆつ子姐の店、(株)マツヤ、ビーシーラーニングシステムズ、阿蘇神社、木村装束店、たちばな信用金庫、多良見支店、(株)マツモト、(有)あづま屋、青果のもろおか、マツシヨウ、(有)徳永自動車、高屋設備、レツカーセンターワン、(株)みづほ、こばやし整骨院、事務機のミヤジマ、イトヤマ、(株)虹の設備、(株)親和銀行、多良見支店、(株)ききつ青果、(株)カステラ本家福砂屋多良見工場、長崎産機サービス、(有)後田塗料商事、(株)ナカムラ、おそじ工舎、諫早店、(株)田中自動車、蓮装アルミ、松尾装業、(有)喜々津新聞販売センター、(有)森商会、西原電気商会、井手陶器、(株)タウラボ、(有)九州インテリア、(有)みのる、大草自動車整備工場、(有)普賢、三井生命保険、(有)南部建設工業、はんセンターソ美堂、山中板金、(株)森開発、(株)長崎スクランプセンター、多良見住宅、(有)丸西自動車、遊膳ききつ、スーパーあづま屋、マスター、(株)長崎スクラップセンター、屋yan yan、(有)グラウンドラ、イ、レストラン松新、吾妻鮓、以 上

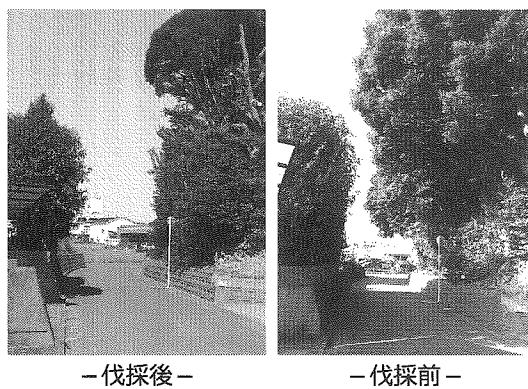
◇節分祭特別協賛商社芳名 ◇
関山祥一(長崎市)、多良見興産、
ヤマエ久野株長崎支店、森 義憲
(株)森 開発、(株)森 住宅、(株)ティ
ーエム、(株)石橋工業、喜々津カン
トリー俱楽部、大石ボディー、(株)
カステラ本家福砂屋多良見工場、
㈱ききつ青果、スナックアロン、
(有多良見碎石、(有)南部建設工業、
(株)唐 草、中村医院、(有)徳永自動
車、西部ガスエネルギー(株)長崎支
店、(株)アサヒ、(有)後田塗料商事、
黒木建設㈱、松尾装業、アルファ
印刷、アポロカード、慈恵病院、
(有)森 商会、(有)やまぐち住建、(株)
溝上建装、共栄機械工事(株)九州支
店、総合アルミ、(株)吉川金属商事、
竹迫整形外科、松屋眼科医院、た
か動物病院、(有)喜々津新聞販売セ
ンター、多良見住宅、(株)小島工作
所、(有)あづま屋、(有)菅原産業、(有)
もろおか薬品、山崎活魚店、やの
皮ふ科、イヌオ胃腸科外科医院、
喜々津美容院、(株)雄 苑、ますだ
小児科内科医院、大久保クリニッ
ク、徳永建設㈱、マエダ住宅㈱、
つくし書道教室、レツカーセンタ
ー三根、千葉剛次、西原電気商会、
(有)吉野企画建設 以上

◇総代会の会務報告◇

今期実施した事業の概略をお知らせいたします。不明な点があれば社務所までお尋ね下さい。

①境内西側の樹木伐採

境内西側の樹木は、老木が多く、また斜面地でもあり、過去には市道を塞いでの倒木もありました。市道にも大きく張り出しており、枯れ枝の落下は多く、苦情や伐採等の要望も多数寄せられていました。



②社務所の外壁塗り替え工事

社務所外壁の塗り替えは、前回の施工より十五年が経過しており、建物保全のために実施いたしました。



- 現状説明を受ける -

③境内の参道改修工事

第三鳥居より本殿への参道は、地盤の沈下もあり、雨天時は参道の一部が冠水するなど参道者にご不便をかけておりました。

参道の改修工事は、今回の工事で完了いたしました。

④熊本県阿蘇神社へ参拝

二月十六日、御本社の神前に募財金を供え正式参拝を行いました。北島勝幸総代会長、森久茂監事（評議員会代表）、宮司の三名が代参拝後には境内を巡り復興への現状説明を受けました。

二月十一日は神武天皇が奈良県橿原の宮に即位された記念の日であります。

紀元祭では、宮司が先人の建国の苦労を偲ぶとともに皇室の弥栄と氏子崇敬者を始め、国民全ての幸を祈念する祝詞を奉上。引き続き喜々津三曲会（吉見哲山会長）の会員六名により尺八の奉納演奏が行われました。先ず「越天楽」続いて「八千代」と二曲を神前に奉奏、優雅な尺八の音色が殿内に流れました。

次に尺八を伴奏で「紀元節の歌」を参列者全員で齊唱、最後に総代会長、評議員代表に続き参列者が順次玉串を捧げ拝礼を行い、祭典を終了しました。祭典終了後は社務所に移動して直会を催し、建国記念日を祝いました。

紀元祭に際し以下の通り初穂料・奉獻酒を賜りました。ご芳名を記しお礼を申し上げます。

平成三十年 皇紀二六七八年 紀元祭を斎行！



- 尺八の奉納演奏 -

◇初穂料◇

《敬称略・順不同》

多良見町漁協	木下和幸	喜々津
三曲会	森誠司	北
島守幸	松尾義光	前田信太郎
松尾清人	吉野徹	森久茂
白石幸男	高柳秋雄	松永芳一
辻秋義	川口勉	前山茂大
路徹	内村典秋	西村駒一
永廣治	犬塚勇	松山司
島勝幸	福田泰昭	浦嶋政美
井義則	坂北徳中	
支店支店長	吉田仁志	
以上	川崎剛	

平成三十年「歌会始」御題「語」

御
製

語りつづあしたの苑を歩み行けば 林の中にきんらんの咲く

皇后陛下御歌

語るなく重きを負ひし君が肩に 早春の日差し静かにそそぐ

新春恒例の「歌会始」の御儀が
一月十二日午前皇居・正殿「松の
間」でおこなわれました。今年は
国内外から二〇、四五三首の詠進
歌が寄せられたそうです。

宮中の新年行事の最後を締めく
くる「歌会始」に一般の詠進が認
められたのは明治七年、特に優れ
たものを選歌として披講されるよ
うになつたのが明治十二年、現在
のような「歌会始」の形に定着し
たのは、昭和三年からといわれま
す。皇室と国民を繋ぐ「歌会始」
に参加してみませんか。

来年の歌会始詠進要項（要約）

お題「光」

平成三十一年の歌会始のお題は
「光」ですが、「光」の文字が詠
み込まれていれば「光線」「栄光」

のような熟語にしても、また「光
る」のように訓読しても差し支え
ありません。

二、詠進要領

①お題を詠み込んだ自作の短歌で
一人一首、未発表のもの。

②書式は、半紙（習字用半紙）を横
長に用い、右半分にお題と短歌、
左半分に郵便番号、住所、電話番

号、氏名（本名、ふりがなつき）、
生年月日及び職業（具体的に）を
縦書きで明記。無職の場合には「無

職」でも良いが、以前に職業に就
いた事がある場合は、なるべく元

の職業を記載して下さい。

宛どし、封筒に「詠進歌」と書き
添える。詠進歌は小さく折つて封
入して差し支えない。九月三十日

別紙に書いて詠進歌に添付のこと。

四、詠進のあて先と期間

〔平成三十一年一月一一日内〕

（平成三十一年の歌会始のお題は
「光」ですが、「光」の文字が詠
み込まれていれば「光線」「栄光」

の理由及び代筆者の住所・氏名を
別紙に書いて詠進歌に添付のこと。

三、注意事項

次の場合には失格となります。

①お題を詠み込んでいない、短歌
の定型でない、用紙が縦長の場合。
②一人で二首以上詠進した場合、
毛筆でない場合。

③すでにに発表された短歌と同一、
または著しく類似する場合。

④詠進歌を歌会始の行われる以前
に、新聞、雑誌その他の出版物・
年賀状等で発表した場合。

⑤その他詠進要領に依らない場合。

◆あとがき◆

阿蘇神社に着任してより三十四

目の正月を迎えた。喜々津の

町並みも随分と様変わりをしたよ

うです▼平昌冬季五輪では日本選

手が大活躍。獲得メダル数も長野

五輪を超えて最多となつた。閉会式

当日に開催された東京マラソンで

は十六年ぶりに日本記録が更新さ

れた。二年後の東京五輪も期待出

来そうだ▼熊本県の御本社・阿蘇
神社の楼門は、四年後に復元の予
定とのこと。楼門をくぐって参拝
する日を楽しみにしています。

◆奉納御礼◆

一、鏡餅一重	中村 晉 殿
一、蜜柑枝	森 尾 興一郎 殿
一、初穂料	藤 男 殿
株徳永建設	江崎 譲一 殿
ビデオスタジオ	中村 晉 殿
いちむら殿	藤 男 殿

年末年始に以下の通り奉納を賜
りました。篤く御礼を申し上げま
す。また毎月境内の清掃をしてい
ただく老人会誠会の皆様に感謝い
たします。